2026・2027年度　日本数学会在外研究奨励フェロー

申請書

作成にあたっての注意事項

・本申請書はWordファイルですが、コンピュータ環境により体裁が異なって見える可能性があるため、あわせてWebに掲載するPDFファイル版もダウンロードし、体裁を確認するようにしてください。

・申請ファイルと同じ内容のファイルをTeXで作成し、pdfファイルで提出しても構いません。その際、申請書様式のように各記載項目の枠を作成することが困難な場合は、枠を作成する必要はありません。ただし、申請書様式とおなじ記載項目、記載順番、文言としてください。

・文字の大きさは12ポイントで作成してください。ただし、　２．（４）これまでの研究成果等　については

10ポイントで作成してください。

・4つの系（代数系、幾何系、解析系、応用・統計系）は次の分科会に対応しています。

「代数系」：　代数学分科会

「幾何系」：　幾何学分科会、トポロジー分科会

「解析系」：　函数方程式論分科会、函数解析学分科会、実函数論分科会、函数論分科会

「応用・統計系」：　統計数学分科会、応用数学分科会、数学基礎論及び歴史分科会

１．申請者情報

① 氏名

|  |
| --- |
| （漢字）（カタカナ）（アルファベット） |

②会員番号

|  |
| --- |
|  |

　※入会申込中の場合は、（入会申込中）と記載

③国籍

④生年月日

（西暦）　　　　　　年　　　月　　　日

⑤現住所

〒

⑥連絡先

（電子メールアドレス）

（電話番号）

（郵便物送付先住所）　　※④と同じ場合は記載不要

⑦所属・身分

本フェローは審査の最終段階では現在の申請者の置かれている研究環境も考慮します。現在の職あるいは次年度予定されている職を記載してください。

⑧学歴

（西暦）

年　　　月　　　日　　〇〇大学〇〇学部〇〇専攻　卒業

年　　　月　　　日　　〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻　修士課程修了

年　　　月　　　日　　〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻　博士課程修了

年　　　月　　　日

年　　　月　　　日

年　　　月　　　日

⑨学位（博士）の取得状況

（西暦）

　　　　　年　　　月　　　日　　博士（〇〇）（〇〇大学）

⑩研究・職歴等

（西暦）

　　　　　年　　　月～　　　　　年　　　　月　　〇〇

※学位取得後、出産、育児による休業等（休暇、休職、離職を含む。）に伴う研究活動の中断期間がある場合で、その点の考慮を希望する場合は、下記にその期間を記載してください。あわせて当該期間を確認することができる書類を、本申請書に添付して提出してください。

　　　　　年　　　月～　　　　　年　　　　月　　育児休業

⑪来年度の科学研究費補助金の状況

該当する下記のいずれかを選択して記入してください。

（選択肢）　採択　不採択　申請中 その他（科研費を受け入れる体制がない機関に所属している等）

|  |
| --- |
|  |

（その他を選択した場合は、ここに説明を記入してください）

⑫選考を希望する分野

選考は、申請者が希望する下記のいずれかの分野において行われます。希望する選考分野を1つ選んで下記に記載してください。

（選択肢）　代数系 幾何系 解析系 　応用・統計系

|  |
| --- |
|  |

２．研究内容

以下の内容について記載してください。使用言語は日本語または英語とします。

（１）専門分野および研究課題名

①専門分野名

|  |
| --- |
|  |

②奨励金受給期間中の研究課題名

|  |
| --- |
|  |

（２）現在までの研究状況　（1,700字以内）

（３）これからの研究計画

①研究の背景　（1,500字以内）

②研究目的・内容　（1,700字以内）

(続き)

③研究の特色・独創的な点　（1,200字以内）

④奨励金受給期間における研究計画

(a)国外の研究機関で自ら研究活動を行うことを希望する場合

　　研究機関名、ホストとなる研究者の所属・氏名

(b)国外の研究機関に所属する研究者との共同研究を希望する場合

　　　 共同研究者の所属・氏名

(c）奨励金受給期間の研究計画の内容（具体的に）　（650字以内）

(d）奨励金受給期間の研究計画の実施により期待される成果、意義　（650字以内）

⑤年次計画　（1,400字以内）

奨励金受給期間にこだわらず、数年の期間にわたっても構わないので、今後の研究計画を記載してください。

⑥自己紹介文　（700字以内）

本フェローに採択された場合、ホームページで紹介記事を掲載します。申請者とその研究内容について、非専門家にもわかるような自己紹介文を記載してください。なお、可能な限り数式は記載しないでください。長さは４００字程度とします。

（４）これまでの研究成果等

　　奨励金受給期間にこだわらず、下記の項目に関するこれまでの実績を記載してください。

1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文（博士論文を含む）、著書(査読の有無も記載してください。)
2. 学術雑誌等または商業誌における解説、総説
3. ③上記①、②に該当しないプレプリントについて、プレプリント・サーバー名など（arXivの場合は投稿番号なども）を記載してください。
4. 国際研究集会における発表著者名、発表タイトル、発表学会名、場所、年月を記載して下さい。発表者に○を付してください。
5. 国内研究集会、日本数学会年会および秋季総合分科会等における発表について④と同様に記載してください。
6. その他特記事項（受賞歴等）